



公立大学法人

福島県立医科大学附属病院



# 性差医療センターだより

創刊号 (2009年4月20日)

## ごあいさつ

こんにちは。性差医療センターです。これから、「性差医療センター」を知っていただくため「お便り」を定期的にだすことにしました。どうぞ、待合時間また自宅にお持ち帰りいただき読んでいただければ幸いです。

福島県立医科大学附属病院に平成16年12月「女性専門外来」が立ち上がり、その流れの中、平成20年12月「性差医療センター」が開設されました。

“どうして「性差医療センター」なの？ どうして、「女性専門外来」「女性医療センター」にしなかったの？何をするとところなの？”このセンターはとても謎めいていると思います。その中で、私たちは、今後「性差医療」が大きく医療に貢献するという思いから県民の皆さんに「性差医療」という言葉またその意義を知っていただきたかったこと、また、将来的には「女性専門外来」だけでなく、現在大きな社会問題になっている男性の自殺率、癌の罹患率の高さなどを考え「男性専門外来」の設置も必要と思われることから、あえて「性差医療

センター」と名づけました。

これまで「女性」と「男性」では染色体、ホルモンなどその違いが明らかにも関わらず、その差をあまり考慮されませんでした。今後は生殖器疾患以外の病気において性差を明らかにし、理解した上で診断、治療を行いさらに効果を高めることが必要とされると思います。

医大病院は高度な医療を提供しております。さらに「性差」を考慮し、全人的に人をみるきめ細やかな医療を提供できることが「性差医療センター」の大きな役割です。従いまして、ゆっくり時間をかけてお話いただくことが必要になります。どうぞ、どこを受診したらよいかわからない患者さん、女性特有の症状で悩んでおられる患者さんお待ちしております。

今後も「性差医療」また「性差のある疾患・病態」についてご説明していきますので、よろしく願いいたします。

文責：性差医療センター部長 小宮ひろみ

## アドバイス

手足が冷たい、腰のあたりがスースーすると感じることはありませんか？これらは、「冷え」症状で女性に多く見られます。病気による「冷え」でない場合、食事や生活を見直すことで「冷え」を改善することができます。

性差医療センターでは、「冷え」を感じている皆さんの悩みや疑問にお答えしています。是非、ご利用ください。

(詳細は裏面をご覧ください。)

文責：性差医療センター 看護師 日下部ひとみ



- \*なぜかわからないけれど、体の調子が良くない。
- \*気になる症状があるけれど、どの科を受診したらいいかわからない。
- \*女性特有の症状でちょっと男性の医師には恥ずかしくて相談できない。  
などの悩みを解消しませんか。お気軽にご相談ください。

性差医療センター予約専用電話 024-547-1407

月・水・金 午前9時～正午、午後1時～4時

---

# 性差医療センターからのお知らせ

---

性差医療センターでは、女性特有の悩みや疑問に無料でお答えしています。

金曜日の午後、月経痛や食事管理などをテーマに行っていますので、どうぞお気軽にお申し込みください。

## ◇テーマ

5月 8日（金） 月経痛について

性差医療センター部長 産婦人科 小宮ひろみ

15日（金） やせと肥満の食事管理 『適正な体重を維持するために』

医事課栄養管理係長 管理栄養士 真田久美子

22日（金） 漢方相談

性差医療センター部長 産婦人科 小宮ひろみ

6月 5日（金） 冷えを予防する生活習慣『毎日の生活を見直してみよう』

性差医療センター 看護師 日下部ひとみ

◇場 所 性差医療センター 相談室

◇時 間 14:00～15:00

◇定 員 3名

予約制になっておりますので、ご希望の方は性差医療センターへお申し込みください。

今後の日程については、改めてご案内いたします。

◇申込先 性差医療センター 電話 024-547-1407